

## ポピュリズムと民主主義

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

教授 玉田 芳史

### 1 はじめに

2014年5月クーデタに始まるプラユット政権は、2015年9月以後、基本政策の1つとして「プラチャー・ラット (pracha rat)」を掲げるようになった。労働大臣は2016年6月にジュネーブで開催されたILO総会において、9世王陛下提唱の知足経済哲学とプラチャー・ラット政策の2つによって貧困を解消すると宣言した。

プラチャー・ラット政策とは何であろうか。それはポピュリズム (populism) の訳語プラチャーニヨム (prachaniyom) を意識して用いられる言葉である。両語に共通するプラチャーは「人民」である。そして、ラットは「国家」、ニヨムは「愛好、主義」である。語義通りには、プラチャー・ラットは「人民の国家」、プラチャーニヨムは「人民主義」となる。しかしながら、プラチャーニヨムは「大衆迎合主義」という意味が定着しており、罵倒の表現となっている。プラチャー・ラットは大衆迎合主義を否定し、それを乗り越えるための表現として、「官民協力」という意味で用いられている。

プラユット政権によれば、大衆迎合主義では政府が支持を求めて利益を民衆にばらまくのに対して、官民協力では政府が人民や民間企業と協力して民衆の生活改善を図る。実は、「民衆」を指す言葉も変更された。従来から「草の根 (rak ya)」という表現が広く用いられている。英語のグラスルーツ (grass-roots) の訳語である。2006年クーデタ後に、「主根 (rak kaeo)」（≒大事な根）の使用が提唱されたことがあるが、定着しなかった。プラユット首相は「低所得者」という表現を用いるよう提唱したことがある<sup>1</sup>。官民協力政策の時期には、政府は一貫して「基礎・底辺 (than rak)」という表現を用いている。指示内容は草の根と同じである。馴染みの乏しい用語をあえて用いるのは、大衆迎合主義との違いを少しでも際立たせるためであろう。

プラユット政権が大衆迎合主義を目に敵にするのは、それをタックシンさらには代議制民主主義の代名詞として用い、官民協力を通じて、その超克を目指しているからである。2006年クーデタも2014年クーデタも共にタックシン派の打倒・根絶を目的としていたことを想起すれば、これは不思議ではない。代議制民主主義批判のキーワードは、汚職と大衆迎合主義である。端的にいえば、官民協力政策は代議制民主主義の抑制ないし否定を狙った政策なのである。官民協力はどのようなものなのか。大衆

<sup>1</sup> “Tang mum khwammai rak-ya”, *Khao Sot*, Aug 28, 2015  
([https://www.khaosod.co.th/view\\_newsonline.php?newsid=1440690954](https://www.khaosod.co.th/view_newsonline.php?newsid=1440690954)).

迎合政策との異同は何か。その政治的な重要性はどこにあるのか。それを以下で見よう。

## 2 大衆迎合主義と官民協力

### 2.1 ポピュリズムと大衆迎合主義

ポピュリズムは多義的である。過去には農本主義やペロン主義などがある。現代政治では利益誘導型と劇場型であろう。前者は大衆迎合主義であり、「しばしば大衆に甘い期待を抱かせ、かつ長期的展望を無視して短期的な利益供与を散布する」タイプである。後者は、独善的な道德主義と反多元性に特色がある。エスタブリッシュメント＝奴ら＝悪、庶民＝我々＝善と想定し、自分たちの道德的優位性を自明視する一方、悪玉の反道德性（汚職・横暴など）をことさらに強調することで、対立を劇的に演出しようとする<sup>2</sup>。これはミュラー流のポピュリズムであり、反エリート主義のほかに、(1)反多元主義、(2)自分たちだけが人民を代表すると主張し、自分たちを支持しないものは人民の一部ではないと断罪する、(3)野党のときには、エリートは非道德的で、自分たちは道德的で同質的で無謬と主張する、といった特色がある<sup>3</sup>。

ポピュリズムは、タイでは、タックシン政権（2001～06年）時代に、プラチャーニヨムと訳された。これは目先の人気取りのために利益をばらまくという面だけを強調した訳語である。この訳語は同政権への批判が高まるとともに、人口に膾炙するようになった。有権者の買収・籠絡と解釈される大衆迎合主義は擁護が憚られる概念となり、それに伴ってポピュリズムも否定されがちな概念となっている。言い換えると、大衆迎合主義という訳語が定着することで、ポピュリズムは否定されるべきものとなった。

他方、ポピュリズムのもう1つのタイプがタイに不在というわけではない。政敵を大衆迎合主義と声高に批判する勢力がそれである。彼らは道德的な「善人 (khon di)」を自称し、同調しない人びとを反道德的・非道德的となじる。タックシンは汚職の権化であり、それに騙され買収される無知蒙昧な大衆は平等な参政権に値しない。

### 2.2 大衆迎合主義とプラチャー・ラット

「善人」は、軍隊、裁判所、デモ隊の連携によって民選政権を3度倒して権力を握った。2006年のスラユット政権と2008年の民主党政権は、大衆迎合策を踏襲したものの、選挙でタックシン派の勝利を阻止できなかった。この反省に基づいて、2014年のプラユット政権はプラチャー・ラットで新味を出そうとしている。

<sup>2</sup> 大嶽秀夫『小泉純一郎ポピュリズムの研究』東洋経済新報社、2006年、序章。

<sup>3</sup> ヤン＝ヴェルナー・ミュラー『ポピュリズムとは何か』（板橋拓己訳）岩波書店、2017年、123-124頁。

プラチャー・ラットという用語はタイの国歌に登場する。しかしながら、日常的には使われておらず、大方のタイ人には馴染みがない。大物政治学者リキットは、2016年1月に「大衆迎合主義とプラチャー・ラット」というエッセイを書いた<sup>4</sup>。それによれば、プラチャー・ラットは字義通りには国民の国家ということであり、国民主権に基づく国家を意味する。しかし、これがプラユット政権で政策として打ち出されたときには、官民協力を指しており、通常の意味とは異なっている。「前政権と似通った大衆迎合政策に、プラチャー・ラット政策という名称を冠することで、批判を免れようとしている。それは言葉遊びにすぎない。」

軍事政権はプラチャー・ラットを政府と国民の協力つまり官民協力という意味で用いている。ただし、ここでの「民」の意味はかなり特殊である。後述のように、民間企業、市民社会、学者、地域の住民や共同体の4つが含まれる。「地域の住民や共同体」は「草の根」であり「底辺」である。それは、市民社会を気取る人びと（端的には NGO）によって教導される存在である。タクシン政権時代には、草の根の一部が政党政治家に追従し、市民社会から離反した。市民社会はその失われた絆を取り戻したいと願っている。軍事政権との接点は、政党政治家が共通の敵という点である。

### 3 官民協力とは

#### 3.1 プラユット首相による開始宣言

プラユット首相は2015年9月20日に「底辺の経済のために国民と政府が力を合わせる」と題するフォーラムで講演を行った。これは経済担当のソムキット副首相や財界代表などが出席し、5,000名以上の聴衆を集める大規模な会合であった<sup>5</sup>。

講演の中で、首相は「本日集まったのは約束をするためである。この約束は選挙での集票を目当てとした政策ではない。政府と国民が協力して、過去のすべての誤りを是正しようという約束である。これは大衆迎合主義ではない。大衆迎合主義は、国民が政府を支持するように仕向ける。しかし、現政権は問題解決にあたって政府と国民が協力する。」

「私は国民のみなさんと様々なことを協力して実行すると約束する。私のために何かをしてもらおうというのではない。我々政府の側がみなさんのために働かなければならない。何か問題が起きるたびに政府が資金を提供するというのでは、その金額が

<sup>4</sup> Likhit Thirawekhin, "Prachaniyom lae pracharat", *Sayam Rat*, January 20, 2016

(<http://www.siamrath.co.th/web/?q=%E0%B8%9B%E0%B8%A3%E0%B8%B0%E0%B8%8A%E0%B8%B2%E0%B8%99%E0%B8%B4%E0%B8%A2%E0%B8%A1%E0%B9%81%E0%B8%A5%E0%B8%B0%E0%B8%9B%E0%B8%A3%E0%B8%B0%E0%B8%8A%E0%B8%B2%E0%B8%A3%E0%B8%B1%E0%B8%90>).

<sup>5</sup> "Nayok tu cuak nayobai prachaniyom yam prathet thai pen pracharat", *Thai Rat*, Sep 20, 2015 (<http://www.thairath.co.th/content/526569>).

増える一方であり、恩義が生じて大きくなる一方である。しかしながら、現政権は、みなさんに恩義を着せるつもりなどなく、国家の恩義に報いようとするだけである。」

「双方が協力することができれば、国は繁栄や成長を続けるだろう。」「地域共同体の強化から始めなければならない。」

「プラチャー・ラット」という表現については、首相は次のように説明した。「タイの国歌の歌詞にはタイ国はプラチャー・ラットだと書かれている。国歌の歌詞には大衆迎合主義という表現はない。プラチャー・ラットは国民と国家が協力することを意味する。」

### 3.2 大衆迎合主義との対比

官民協力政策を特集した2016年5月15日付けの政府広報誌で、プラユット首相は、次のように説明した。「官民協力は、過去の弊害をただす。大衆迎合主義が土壌を改良せず有害物質を残留させ、しかも高額な無機肥料や化学肥料であるとすれば、官民協力は土壌を改良し土壌の養分を増加させ自然とのバランスを保ち環境に優しい有機肥料・家畜糞肥料・発酵肥料・生物肥料である。大衆迎合主義は搾取する資本家に依存して稲作を行うような一時しのぎの解決方法であるのに対して、官民協力は知足経済哲学に則った持続性のある解決策である。官民協力では、政府予算は、・・・うわべを取り繕うだけの使われ方をせず、長続きする幸福を生み出し、自立できる強さをもたらすために、体系的に運用される。」

官民協力は、政府、民間企業、国民（市民社会、学者、地域住民・共同体）が協力し合って、安定と富を実現する。この官民協力はどのように作動するのか。(1)国では12の作業部会がおかれる。(2)県では、76県に「団結愛プラチャー・ラット社」(borisat pacharat rak samakkhi、以下ではPRS社)が設置される。(3)政府、経済界、国民の合同作業部会がおかれる。3者が協力して国を発展させる<sup>6</sup>。

### 3.3 能書き

官民協力はどのようなものなのか。支持派のエッセイに依拠して、能書きを紹介しよう。

シンクタンク TDRI の研究員ノーナリット・ピソンヤブットは、「官民協力政策は大衆迎合主義とどう異なるのか、国民は何を得るのか」と題する2016年1月のエッセイで、次のように説明した。「官民協力政策の狙いは、大衆迎合主義の弱点を克服することにある。官民協力政策の要点は、政府の権力を国民の利益優先で行使することにある。それゆえ、官民協力政策は国民から短期的な支持を獲得することを重視しな

<sup>6</sup> Cotmai khao ratthaban phua prachachon, No. 26 (15 May 2016), p.2

い<sup>7</sup>。」

タイ・ラット紙のコラムニストは、「官民協力で大衆迎合主義を測る」というエッセイで次のように記している。「大衆迎合主義は短期的な効果を想定している。官民協力は長期的な効果を考えている。官民協力は、政府、民間企業、国民が協力して、いろいろな面での改革を通じて、豊かで永続的な発展を目指す。社会的格差を減らし、人々の生活の質を改善し、競争力を高める。」

「激しく競争する弱肉強食状態では、タイ経済の草の根は強化されない。中小企業は生き残れない。経済の草の根がよくなければ、発展や強化も上首尾には進まない。官民協力の競争では、規模の大小を問わず、誰もが同時に前進できる。」

具体的には、低利融資をともなう廉価住宅事業、高齢者住宅事業、小規模事業者への無利子や低利子の融資事業、地域の小規模小売店を復活させ廉価販売で住民を助ける商業省の官民協力商店事業、工業省の中小企業開発基金などがある。これらの「官民協力事業は長期的な経済復興を狙っている。目先の利益や集票だけを狙ったバラマキとは異なる<sup>8</sup>。」

#### 4 プラチャー・ラット政策の担い手

プラユット政権によれば、大衆迎合主義は庶民の生活改善に寄与しない人気取り政策であり、官民協力政策はその正反対を目指している。まず、政策の担い手を見てみよう。

##### 4.1 ソムキット副首相

プラユット首相は、官民協力政策開始宣言の1カ月前、2015年8月19日に、大幅な内閣改造を実施していた。ポイントは経済政策の責任者をプリーディヤートーンからソムキットへ交代させることであった。ソムキットには経済低迷の打破が期待されていた。

ソムキットはタックシン政権のタクシノミクス(Thaksinomics)で成功をおさめた。それは、富裕層向けの成長政策(外需)と貧困層向けの所得再配分政策(内需)を組み合わせた両面政策(dual track policy)であった。タックシンを否定しようとする人びとは、タクシノミクスを票田の貧困層を買収する大衆迎合主義と批判してきた。プレーム枢密院議長が、2015年9月2日の講演で、「大衆迎合主義のせいで、一部の国民は考える気がなくなり、施しを待ち受けるばかりになる。大衆迎合主義はタイ国

<sup>7</sup> Nonarit Phisonyabut, "Nayobai pracharat taektang cak nayobai prachaniyom yangrai? lae prachachon ca dai aria?", *Post Today*, Jan 10, 2016 (<http://www.posttoday.com/social/think/409357>).

<sup>8</sup> Mat Lek, "Pracharat wat prachaniyom", *Thai Rat*, Sep 22, 2017 (<https://www.thairath.co.th/content/1076265>).

とタイ人を弱体化させてしまう」と批判したように、大衆迎合主義はタックシンをはじめとする政党政治家を罵倒する言葉になっている。しかしながら、06年クーデタ後の軍事政権も、08年からの民主党政権も、14年からの軍事政権も、看板こそ違っても、内実では人気取りを強く意識した政策を実施してきた。ソムキットの入閣は所得再配分に一段と力を入れることを暗示していた。

本誌2015年9月号で紹介したように、ソムキット入閣後の2015年9月2日の閣議で、村落基金に600億バーツ、区(tambon)の生活改善に363億バーツ、小規模な公共事業に400億バーツの予算を投じることが決定された。プラユット首相は、国民の多数を占める低所得層への支援だと説明した。政敵のタックシンを想起させたため、おそらく二番煎じとの印象を薄めようとして、官民協力という新しい看板を掲げたものと思われる。しかも、国歌の歌詞に含まれる語であると主張して、急ごしらえの造語ではないと印象づけようとした。

だが、タックシン政権時代と比べて新しいのは看板だけではなかった。官民協力政策には、医療関係者と財界人が強く関与するようになった。この政策は、官と民が担い手であり、民の側には民間企業、市民社会、学者、地域住民・共同体の4つが含まれる。関係する組織の役員や委員の顔ぶれを眺めると、市民社会、学者、住民のカテゴリーには、医療従事者を中心とするNGO関係者が非常に多い。

## 4.2 医療関係者

「底辺の経済のための官民協力」という官民協力型の発想は、ソムキット副首相だけでなく、医療関係者に負っている。具体的には、第一に、医学界の重鎮プラウエート医師、第二に、2006年クーデタ後の軍事政権で社会開発・人間安全保障省の副大臣として入閣し、プラユット政権では改革評議会の議員に任命されたポンデート医師、第三に、健康増進財団(Thai Health Promotion Foundation)である。評論家のパイトーンヘーンが「官民協力政策は健康増進財団のネットワークに依存しなければ立ちゆかない」と断言する通りである<sup>9</sup>。医療関係者は大半が国家公務員であり、社会運動に熱心なものが多く、NGOとの結びつきも強い。彼らは医師という尊敬される職業ゆえに、社会や政治への発言力が大きく、市民社会と呼ばれる領域での存在感が大きい。公衆衛生(satharanasuk)の頭文字Sをとって、タイで「ソー家(trakun so)」と呼ばれる。この医療一家は、2013年から14年にかけてのインラック政権打倒運動でも、枢要な役割を果たしていた。

この一家の頭と目されるのがプラウエートである。彼はマグサイサイ賞を受賞した著名な医師であり、1990年代から政治や社会の改革運動に積極的に関わってきた。ソ

<sup>9</sup> Bai Tong Haeng, "So.So.So. kha khrai ya tae", *Matichon*, Oct 24, 2015 ([http://www.matichon.co.th/news\\_detail.php?newsid=1445660350](http://www.matichon.co.th/news_detail.php?newsid=1445660350)).

ムキットは、そのプラウェートと正命財団 (Right Livelihood Foundation) の設立に加わっており、浅からぬ縁があった。医療一家は官民協力に構想を提供し、政府・民間企業・国民という 3 本柱のうち国民を教導する立場にあった。官民協力政策には、草の根の大衆をタックシン派から NGO へ取り戻して軍事政権の支持者に転換するという狙いが込められていた。

ところが、2015 年に軍事政権と医療一家の対立を招く事件が起きた。プラユット政権は、2015 年 10 月に健康増進財団の査察を行い、財団の運営には不明朗な点があることを明らかにした。財団は 2001 年から酒税とたばこ税の 2% を充当されており、年間 40 億バーツほどの収入がある。財団はこれを補助金や助成金として配分してきた。ポスト・トゥデイ紙によれば、「2001 年にタイが上位中所得国になると、タイの NGO は国際的 NGO からの資金助成がなくなり、資金源が激減した。そうした中で・・・健康増進財団は主たる資金提供者となった<sup>10</sup>。」査察は、健康増進という目的から逸脱した事業への助成が行われていること、さらに財団幹部が役員を務める組織へ多額の助成が行われていることを明らかにした。財団は役員交代を迫られることになった。

査察ゆえに、医療関係者は政権との間に距離を置くようになったというとらえ方もある<sup>11</sup>。しかし、ポンデート医師は 2016 年 1 月にプラユット首相との会談後に、健康増進財団の潤沢な資金を、目的が財団と類似する官民協力事業に投入すると発表した。官民協力政策着手から 1 年目の 2016 年 9 月に、ポンデート配下の国家健康委員会事務所 (National Health Commission Office) が主催してセミナーを開催した。プラウェートもそのセミナーに参加した。ソムキット副首相は、官民協力政策は初年度には経済面を優先してきたので、プラウェート医師と相談して 2 年目からは社会面を重視することにした、と述べた。ポンデートは、「これまでの 1 年間は草の根経済のための官民協力政策の実施により、実業界と市民社会は地域共同体経済の開発に当たって援助や協力を行えることが分かった。社会のための官民協力はその延長になる。」健康増進財団代表の医師は、政府、市民社会、民間企業が協力して、健康増進にあたると述べた<sup>12</sup>。結果から推測すれば、査察は医療関係者を服属させるための措置であったのかもしれない。

<sup>10</sup> “SO.So.So. rot yak”, *Post Today*, Oct 20, 2015

(<http://www.posttoday.com/analysis/report/395031>).

<sup>11</sup> “Ru cak pracharat di ru yang”, *Siamrat*, June 1, 2016

(<http://www.siamrath.co.th/web/?q=%E0%B8%A3%E0%B8%B9%E0%B9%89%E0%B8%88%E0%B8%B1%E0%B8%81-%E2%80%9C%E0%B8%9B%E0%B8%A3%E0%B8%B0%E0%B8%8A%E0%B8%B2%E0%B8%A3%E0%B8%B1%E0%B8%90%E2%80%9D-%E0%B8%94%E0%B8%B5%E0%B8%AB%E0%B8%A3%E0%B8%B7%E0%B8%AD%E0%B8%A2%E0%B8%B1%E0%B8%87>).

<sup>12</sup> “Phanuk kamlang doen na pracharat phua sangkhom”, Oct 3, 2016

(<http://www.thaihealth.or.th/Content/33310-พนักงานส่งเสริมสุขภาพรัฐเพื่อสังคม.html>)

### 4.3 プラチャー・ラット社

政府は官民協力事業推進のために、2015年12月15日に12の作業委員会を設置し、総勢200名以上の委員を任命した。分類でいうと、民間企業代表73%、閣僚13%、官庁10%、教育機関4%といった割合となっており、国民の代表はごくわずかにとどまっている。

民間企業の内訳を見ると、アグリビジネスや電気通信を主力事業とするCPが12すべての部会に委員を送り込んでいる。国王財産事務所からはサヤーム・セメント社が10、チャーン・ビールや不動産業のタイ醸造社が8、製糖業のミットボン社と石油公社が6つずつといった具合に民間企業から多数の委員が入っている。このため、官民協力政策は政府が有力企業に便宜を提供する方便にすぎないのではないかと懸念し、官民協力ではなく、資本と国家による官財協力にすぎないと批判する声もある。

表 「官民協力」委員会の企業代表

部会	企業・業界 CP	サヤーム セメント	小売業	タイ醸造	ミットボン	石油公社	銀行
革新	✓				✓	✓	
投資	✓	✓	✓	✓			✓
中小企業	✓	✓	✓	✓			✓
生活の質	✓	✓	✓		✓		
草の根経済	✓	✓	✓		✓	✓	
観光	✓	✓	✓	✓			
輸出	✓	✓	✓	✓		✓	✓
産業クラスター	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
法改正	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
農業開発	✓	✓		✓	✓		
教育	✓	✓		✓		✓	
所得増	✓		✓				✓
小計	12	10	9	8	6	6	4

出所: BIOTHAI (<https://www.facebook.com/biothai.net/posts/1013049758733545:0>).

12の部会のうち1つは「底辺経済開発と官民協力作業委員会」であり、政府側は内務大臣、民間企業側はターポン・シリワッタナパックディー（タイ醸造社長）が代表になった。この部会は、PRS社（団結愛プラチャー・ラット会社）の設立に関与した。同社は首都に全国社が1社、それ以外の76県に1社ずつ設立された。



PRS 社には 5 つの原則がある。(1)利潤の追求ではなく、社会の役に立つことを優先する、(2)地域共同体における事業への助言を主たる収益源とし、政府予算や寄付に頼らない、(3)収益は事業拡大に投資し、私的利益として配分しない、(4)よい統治の原則に基づいて運営する、(5)会社として登録する。PRS 社の担い手は、(1)支援役の政府、(2)推進役の民間企業、(3)知識を提供する学者、(4)地域共同体を強化する市民社会、(5)現場の住民や地域共同体の 5 つである。これら 5 者の出資比率は限度がないものの、会社の運営においては対等に 2 割ずつの発言権が認められる。

PRS 社の設立方法は次の通りである。まず 3 名以上の発起人を集める。5 部門から出資者を募る。会社の役員は、民間企業、学者、市民社会、住民の 4 部門より、5 名から 10 名を任命する。設立会合を開き、県商業登記事務所で登記する。登録資本金の 25%以上を払い込む。

2016 年 4 月 29 日付けで設立登記が行われた「全国 PRS 社」の場合、登録資本金は 1 億バーツ、出資者は企業幹部 3 名、社会活動家 2 名の計 5 名であった。企業はタイ醸造、ミットポン、CP の 3 社であり、うちタイ醸造社長のターポンが 10 万株のうちの 99,996 株を出資し、残る 4 名が 1 株ずつを出資した。ターポンは全国 PRS 社における企業代表である。ターポンによれば、資本金の 76%は 76 県の PRS 社、残る 24%は大企業が出資する予定になっていた<sup>13</sup>。

全国 PRS 社では、市民社会と民間企業から 3 名ずつ、学者と住民・地域社会から 2 名ずつの 10 名が理事会に加わり、会長にはミーチャイ・ウィーラワイタヤ（市民社会代表、産児制限のための Condom 普及活動で著名）、社長にトーンチャイ・タナチャーナン（住民・地域社会代表、元中央銀行総裁チャワリットの娘）が就任した。なお、10 名の理事のうち、市民社会代表の医師ボンデート、民間企業代表のターポンと スッパチャイ・チアラワノン（CP）の 3 名は、「底辺経済開発と官民協力作業委員」を兼任している<sup>14</sup>。

最初に設立された地方 5 社についてみると、プーケット PRS 社は 2016 年 3 月 31 日が登記日である。資本金は 400 万バーツであり、3 名が 1,600 株、1,200 株、1,200 株を出資し、出資額が最多のタイ醸造役員が社長に就任した。残る 4 社の登記はいずれも 4 月 29 日であった。チェンマイ PRS 社では、1 株ずつの 2 名と、3,998 株の 1 名が出資し、タイ醸造系企業幹部が社長に就任した。ブリーラム PRS 社では、3,998 株 1 名、1 株ずつ 2 名の出資者がおり、最大出資者のタイ観光公社元総裁が社長に就

<sup>13</sup> “Thapon Siriwatthanaphakdi khlia pom borisat pracharat”, *Than Setthakit*, May 21, 2016 (<http://www.thansettakij.com/content/54267>).

<sup>14</sup> Khana Tham Ngan Kanphatthana Setthakit Thanrak lae Pracharat, *Khumu pracharat rak samakkhi phua sangkhom*  
Khana Tham Ngan Kanphatthana Setthakit Thanrak lae Pracharat, *Khumu pracharat rak samakkhi chabap thi 2 toem chiwit hai borisat pracharat rak samakkhi cangwat*.

任した。ペットブリーPRS社では、3,998株1名、1株ずつ2名の出資者がおり、最大出資者のタイ醸造系企業幹部が社長に就任した。ウドンターニーPRS社では、3,998株1名、1株ずつ2名の出資者がおり、最大出資者の同県元知事が社長に就任した<sup>15</sup>。

PRS社のホームページ (<http://prsthailand.com/home>) では、各地の工芸品・特産品が多く紹介されている。それはタクシン政権時代に日本から導入したOTOP（1区1品事業）の継承である。大企業への依存が吉と出るのか凶と出るのか、注視していく必要がある<sup>16</sup>。

## 5 軍事政権の大衆迎合主義

ソムキット副首相は2016年8月28日に、入閣後の10カ月を振り返って、こう述べた。「農民の所得が少ないことは誰もが知っている。」「首相は農作物を加工して付加価値をつける農業関係の中小企業をどうしたら起業させることができるのかと思索している。[軍事政権ではなく]選挙で選ばれる政権の時代には、そうした政策は打ち出されない。選挙への効果を最優先するため、長期的な視野から取り組むことが難しいからである。プラユット政権が貧民支援のために打ち出した数々の事業を思い起こして欲しい。民選政権時代よりも多い。」

軍事政権は官民協力政策が大衆迎合主義の弊害を打破するものであると主張している。しかし、そのことは軍事政権が大衆迎合政策を止めたことを意味するわけではない。タクシン派政権の人気獲得に寄与した政策については、一方では大衆迎合主義と罵倒しながら、他方ではその多くを踏襲している。新たに導入した大衆迎合政策もある。いくつかの例を見てみよう。

### 5.1 低価格住宅

タクシン政権は「思いやり住宅 (ban ua-athon)」という名称で低価格住宅の供給を始めた。この事業は2017年現在も継続中である<sup>17</sup>。そこに割り込む形で、プラユット政権は、2016年3月23日に「官民協力住宅」事業を始めると宣言し、政府系の銀行2行を通じて建設業者への融資用に300億バーツ、購入者への融資用に400億バーツを提供すると発表した。住宅公団は、2016年7月7日に「官民協力公団住宅」

<sup>15</sup> “Thapon Siritwatthanaphakdi thu hun pracharat 99% - 5 cangwat yong klum sia caroeng thang mot”, *Isranews*, May 10, 2016

([https://www.isranews.org/isranews-scoop/46843-report\\_46843.html](https://www.isranews.org/isranews-scoop/46843-report_46843.html)).

<sup>16</sup> “Critics question whether Pracha Rath project can deliver benefits to locals”, *The Nation*, June 20, 2016 (<http://www.nationmultimedia.com/politics/Critics-question-whether-Pracha-Rath-project-can-d-30288584.html>).

<sup>17</sup> 住宅公団のホームページを参照されたい(<https://www.nha.co.th/view/1/Home>).

として全国で 221 事業 22,884 戸を供給すると発表した。形態はマンション、一戸建て、テラスハウス（連棟住宅）があり、価格帯は 1 戸あたり 30 万バーツから 74 万バーツであった。発表時に、161 事業 9,543 戸が完成済みであった<sup>18</sup>のは、従来からの事業の継承であることをうかがわせる。次に、財務省管財局は、「官民協力管財住宅」を 4 事業 800 戸発売すると 2016 年 8 月に発表した。バンコクと西部の海辺チャムが 2 事業ずつであり、価格は 69 万バーツから 71 万バーツであった<sup>19</sup>。

## 5.2 貧民登録と生活支援

プラユット政権は、タックシン政権に倣って、「貧民登録」を 2016 年 7 月 15 日から 1 カ月をかけて、実施した。18 歳以上で年収が 10 万バーツに満たないものが対象であった。財務省が 2017 年 3 月に発表したところによると、登録者は 838 万人、認定を受けたものは 772 万人であった。そのうち、753 万人には 2016 年 12 月に年収に応じて 3,000 バーツもしくは 1,500 バーツが各自の口座に振り込まれた。ちなみに、農民が 248 万人、農民以外が 505 万人であり、その比率は 1 対 2 であった<sup>20</sup>。

貧民登録は 2017 年の 4 月から 5 月にかけて改めて実施された。年収 10 万バーツという条件は据え置かれ、所有する預貯金や不動産について上限が新たに設置された。条件の引き上げにもかかわらず、登録に出向いたものは 1,417 万人であり、うち 1,167 万人が認定された。前年よりも大きく増えて、総人口の 17.7% に達した。2017 年には現金給付に代えて、「福祉カード」と呼ばれる電子カードが交付されることになった。年収が 3 万バーツ未満のものは毎月 300 バーツ、3 万バーツから 10 万バーツのものは毎月 200 バーツの買い物ができ、炊飯用ガス代金の 45 バーツ割引（各自 3 カ月ごとに 1 回）を受けることができる。公共交通機関の運賃 500 バーツ（首都の路線バスと電車、長距離バス、郊外鉄道につきそれぞれ毎月 500 バーツまで利用可能）の支払いにも使えると説明されている。

貧民救済措置はこれらだけには尽きない。タイ・ラット紙によれば、電気使用量の少ない家庭の料金を無料にした。対象は 2017 年 9 月には、地方配電公社が 326 万戸、首都配電公社が 1 万戸の合計 327 万戸であった。また、石油公社は、低所得のタクシー運転手のタクシー用燃料ガス料金を 1kg あたり 3.5 バーツ値引きして 10 バーツに

<sup>18</sup> “Phrom khai laeo ban pracharat san fan khon con sang khwamthaotiam nai sangkhom” < *Thai Rat*, July 7, 2016 (<http://www.thairath.co.th/content/657294>).

<sup>19</sup> “Poet cong ban thanarak pracharat 19-21 singhakhom ni”, *Krungthep Thurakit*, Sep 19, 2016 (<http://www.bangkokbiznews.com/news/detail/712778>).

<sup>20</sup> Krasuang “Kankhlang. Raingan phon kanlongthabian phua sawatdikan haeng rat pi 2559”, March 1, 2017 (<https://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=1&cad=rja&uact=8&ved=0ahUKEwiPhYW9tpnWAhXGKJQKHXY0Dn4QFgggMAA&url=http%3A%2F%2Fwww.fpo.go.th%2FFFPO%2Fmodules%2FContent%2Fgetfile.php%3FcontentfileID%3D12668&usq=AFQjCNFRLJlmVz3rFZK1n2xWfgFOGPHfzg>).

した。対象は9万台のタクシーのうち6万台であった<sup>21</sup>。

### 5.3 子ども手当

政府は2015年から第一子手当を導入した。登録者に対して、2015年10月1日から2016年9月30日までの間に生まれた新生児について1歳になるまで毎月400バーツを給付する制度であった。政府は2016年3月22日の閣議で、月額を600バーツに引き上げ、給付対象年齢を3歳まで延ばすことを決めた。2017年9月1日時点で、第一子登録を済ませた母親は376,578名であり、うち63,120名は貧民登録もしていた。

### 5.4 高齢者手当

インラック政権は高齢者手当として、60歳代で600バーツ、70歳代で700バーツ、80歳代で800バーツ、90歳以上で1,000バーツを毎月給付するようになった。軍事政権は増額を検討している。すなわち、政府報道官は2017年4月に、1,200バーツないし1,500バーツへの引き上げを検討中であること、貧民登録の結果を判断材料にすることを明かした<sup>22</sup>。政府は2017年8月1日に、財源として、酒税ならびにたばこ税（2016年度には2,130億バーツ）のうち2%（上限40億バーツ）を充当することを決定した。この2つの税はすでに、健康増進財団に2%、国営テレビ放送局に1.5%（上限20億バーツ）、スポーツ基金に2%が充当されているので、今回の追加で7.5%になる。

### 5.5 草の根での開発予算と低利融資

内務省は2016年5月1日から3カ月をかけて、「1村落20万バーツ」事業を実施した。全国74,588の集落に20万バーツずつ、総額で150億バーツほどを投じる事業である。「官民協力の方針に基づいて、底辺の経済を活性化するための、集落の能力改善事業」というのが正式名称である。内務省はそれとは別に、2016年に、全国7,255の区(tambon)を対象として、各区あたり500万バーツの生活基盤改善予算を提供した。総額は363億バーツであった<sup>23</sup>。

ソムキット副首相は2016年1月にこう述べた。「内務省は2カ月前から「1区500万バーツ事業」に着手した。政府は資金が農民の手元に届くことを願っている。類似

<sup>21</sup> “Nayobai bat sawatdikan haeng rat”, *Thai Rat*, Oct 2, 2017.

<sup>22</sup> “Phu sung wai he!! Rat cai pam laeng phoem bia yang chip khon chara”, *Krungthep Thurakit*, April 13, 2017 (<http://www.bangkokbiznews.com/news/detail/750050>).

<sup>23</sup> “Mo.tho. sang phuwa khlia tua lek tambon la 5 lan banthuk hai 13,036 khrongkan”, *MGR Online*, June 20, 2016 (<http://www.manager.co.th/Politics/ViewNews.aspx?NewsID=9590000061435>).

したものに、自分も関わったタクシン政権の「村落基金」がある。・・・貧民を助けられるのであれば、どの政権も採用すべきである。・・・先頃、首相は農村部の強化を助けるための官民協力事業を提案するように指示した。「私は農民が将来小規模事業主になって欲しい。政府の農業・農協銀行と貯蓄銀行は「1区1農業関連産業SME融資事業」を始めている。」これは、政府の農業・農協銀行が2,000万バーツ未満の融資については当初の7年間の利率を4%に据え置くという融資事業である。政府はこの事業のために720億バーツの予算を準備した。この事業は2016年2月1日から始まった<sup>24</sup>。

工業省事務次官が2017年9月14日に明かしたところによると、中小企業向けの融資を行う「官民協力式中小企業開発基金」には、3,292件168.36億バーツの融資申し込みがあり、融資条件の緩和により、17年9月中には99億バーツ以上、同年10月中には160億バーツを融資する予定になっている<sup>25</sup>。

「1村落20万バーツ」と「1区500万バーツ事業」の2事業が2016年9月をもって終了すると、内務省は次の年度には、金額を1村落25万バーツへ引き上げて、全国74,655の集落で総額187億バーツを投じる公共事業で、集落の能力改善を目指すことになった<sup>26</sup>。

## 6 敵は選挙民主主義

### 6.1 弊害見つけた

官民協力は自画自賛のために作られた表現である。大衆迎合主義は敵を罵倒するために作られた表現である。官民協力は自称であり、大衆迎合主義は他称である。

大衆迎合主義を批判する人々が異口同音に指摘するのは、財政破綻への懸念である。いつも引き合いに出されるのは、ラテン・アメリカの実例であった。タイではそうした可能性が指摘されるにとどまり、具体的な証拠が示されることはなかった。証拠がなかったからである。ラームカムヘーン大学政治学部で教鞭を執るクリアンチャイが実証したように、大胆な所得再配分政策を導入したタクシン政権下(2001~06年)では、政府の財政状態は悪化ではなく改善を記録していた<sup>27</sup>。大衆迎合政策への反対

<sup>24</sup> “Somkhit kick-off khronkan sinchua 1 tambon 1 SME kaset”, *MGR Online*, Apr 4, 2016 (<http://www.manager.co.th/iBizChannel/ViewNews.aspx?NewsID=9590000034541>).

<sup>25</sup> “Kong thun SME tam naeo pracharat”, *Thai Rat*, Sep 19, 2017 (<https://www.thairath.co.th/content/1073224>).

<sup>26</sup> Krom Kanpokkhong, *Khumu khronkan yok radap sakkayaphap muban phua khapkhluan setthakit thanrak tam naeothang pracharat pracam pi ngoppraman pho.so.2560* ([https://www.google.co.jp/url?sa=t&ret=j&q=&esrc=s&source=web&cd=3&ved=0ahUKEWju9cLlu5vWAhXE2LwKHXXfCpUQFgg1MAI&url=https%3A%2F%2Fmulti.dopa.go.th%2Finspector%2Fbanner\\_link%2FfileDownload%2F70&usg=AFQjCNE35Dx-eNtALbxMpMd9KIqZ38tJ8Q](https://www.google.co.jp/url?sa=t&ret=j&q=&esrc=s&source=web&cd=3&ved=0ahUKEWju9cLlu5vWAhXE2LwKHXXfCpUQFgg1MAI&url=https%3A%2F%2Fmulti.dopa.go.th%2Finspector%2Fbanner_link%2FfileDownload%2F70&usg=AFQjCNE35Dx-eNtALbxMpMd9KIqZ38tJ8Q)).

<sup>27</sup> Kriangchai Pungprawat. 2012. “Thaksin and Budget Allocation: A Study in Political

が、財政状態への無知に根拠づけられているのであれば、これは著しく不誠実な態度といえよう。しかし、財政破綻への真摯な不安ではなく、民選政権への批判に主眼があるとすれば、財政破綻をめぐる真偽は二の次であろう。

この点で、2011年発足のインラック政権が導入した粳米質入れ政策は逆ざやによって巨額の財政赤字を生み出すことになったため、それ見たことかと、大衆迎合主義批判の好餌となった。軍事政権や「善人」が、この政策をめぐる、政治責任のみならず、刑事責任や民事責任を強硬かつ執拗に問おうとするのは、大衆迎合主義を批判するのうってつけの材料だからであろう。

## 6.2 敵は代議制民主主義

チューラーロンコーン大学政治学部のピット・ボンサワットは、官民協力政策が代議制民主主義否定の手段であると警鐘を鳴らしている。彼によると、多くのものは官民協力という言葉の意味を理解しないままに、新機軸として歓迎しているように思われる。この言葉は2つの面に分けて考察する必要がある。1つは具体的な政策としての成否である。もう1つは軍事政権に正当性を付与する新しい言説としての成否である。

ピットは後者に関して、医療関係者の役割に注目する。中心人物の1人ポンデート医師は、2016年9月のセミナーで、プラウェート医師に依拠しながら、「大衆迎合主義は、政治家が政府の資金を庶民にばらまいて恩を売る。庶民はますます衰弱して貧困から脱却できない。それに対して、官民協力は草の根の民衆を強化して貧困から脱却させ、名誉や威信を感じさせ、自立できるようにする。その結果、草の根の民衆は政治家を監督できるようになり、本当の民主主義を実現できるようになる。要するに、大衆迎合主義では民衆は弱いままで貧困から脱却できないのに対して、官民協力では民衆が強くなり貧困から永遠に脱却できる」と述べた。

ピットによると、プラウェートが主導し、医療関係者が大小の歯車となって切り盛りし、(内実が何かはさておき)「改革」に邁進してきたタイの市民社会が、官民協力構想の底流に存在している。市民社会にとっては、官民協力は改革であり、大衆迎合主義や民主主義よりも優れている。軍事政権は、NGOなどの市民社会が1990年代から唱え続けてきた改革構想を受け入れて改革の検討を重ね、汚職撲滅を重点目標に組み込むことで、両者の結束を固めた。「市民社会は、権力をめぐって争い合う相手である政治家を排除する限り、国家を好意的に受け止めており、国家と民間企業が密接な協力を続けていることを気にかけない。」

民選議員という「共通の敵を作り出し、市民社会と民間企業が政治を否定し、軍隊と官僚の国家が民主主義の手続きを省いたよき統治を行う」という思い込みが、官民

協力を当たり前のこととして定着させる一因になっている<sup>28</sup>。

ピットはさらに2017年9月19日のセミナーでこう述べた。2014年クーデタでは、過去のクーデタと比べると、大衆の心理に訴える表現や言い回しを重視している。暫定政権の領分を超えて、民主主義の核心部分を作りかえようとしている。少なくとも2つの見直しを試みている。第一に、政府と民間企業の協力という新たな政治経済ネットワークを構築している。第二に、民主主義に抵抗する思想を体系的に練り上げている。官民協力はその一部であり、政府は上意下達で住民・官僚・政府機関に協力を要請する。官民協力に関して注目すべきは次の3点である。第一に、民間企業の力を借りながら、官民協力を実施するため、官庁の予算が大幅に増額されている。第二に、大衆迎合的な事業の名称がしばしば官民協力へと変更されている。第三に、官民協力は大衆迎合主義でも民主主義でもない。官民協力は、政府と国民の一体化であり、政府と民間企業が国民からの協力を得ようとすることである。ここで大事なのは、官民協力には政治家と選挙制度が入り込む余地がないことである<sup>29</sup>。

### 6.3 大衆迎合主義を批判する売名の徒

政治学者のカシアンが指摘するように、大衆迎合主義の批判者は民主政治批判へと短絡しがちである。「自分たちが嫌いな大衆迎合主義の経済政策と、政治的平等・国民民主権・多数決支配に基づく民主主義体制の区分を曖昧にし、両者が不可分で同一と考えがちである<sup>30</sup>。」民主主義を否定することなく、大衆迎合主義を批判できるにもかかわらず、両者を区別しないのは、大衆迎合主義批判の狙いが民主主義批判にあるからであろう。だからこそ、官民協力政策の内実が従来からの大衆迎合政策に拍車をかけたものであっても、大衆迎合主義というレッテルを貼りつけた政策のみを批判するのである。

プラユット首相が各地に出向いて閣議を開催し、公共事業を気前よく約束するのは、人気取りにはかならない。端的な例を1つあげよう。首相は2017年8月28日に東部サケート県で経済特区に関する会合に出席した折、当日午後カンボジア国境に近い寒村を訪ねて、土地を所有しない貧民に国有地の使用契約書を交付した。農地だけではなく、電気や水道も提供されることになって、住民は大喜びであった<sup>31</sup>。首相は翌

<sup>28</sup> Phit Phongsawat, "Pracharat", *Maticchon*, March 29, 2016 (<https://www.maticchon.co.th/news/87359>).

<sup>29</sup> "Phit Phongsawat chuan sangket pracharat khati khwamsamakkhi kap wangwon ratthaprahan", *Prachathai*, Sep 21, 2017 (<https://prachatai.com/journal/2017/09/73329>).

<sup>30</sup> Kasian Techaphira, "Ti prachaniyom krathop prachathipatai", *Maticchon Sutsapda*, March 24-30, 2017 ([https://www.maticchonweekly.com/featured/article\\_29579](https://www.maticchonweekly.com/featured/article_29579)).

<sup>31</sup> ご満悦の首相と喜色満面の住民が写った式典の様子を示す動画がある (<https://www.youtube.com/watch?v=BH3OW8RPaBM>).

日政府官邸で、現地視察は水が不足する農地を官民協力事業の1つである育牛用の放牧地に変えられるかどうかを確認するためであったと説明した<sup>32</sup>。しかし、現地ではその交付式典翌日には、電柱・電線は撤去され、蛇口からは水が出なくなっていた。住民は牧草が育たないことを懸念した。電気や水道は、住民を糠喜びさせ、首相を称えるための虚飾に過ぎなかった。住民を騙すのは大衆迎合とはいえないものの、首相が人気獲得を強く意識していることは間違いないなからう。

人気への拘りをうかがわせる逸話がある。2017年9月に政府系の機関が、プラユット首相の支持率は2015年に87.5%と非常に高いけれども、2003年のタックシンの92.9%には及ばないと発表すると、プラユット首相は気色ばんだ。プラユットは、自身が総選挙に立候補しないにもかかわらず、選挙後に首相続投あるいは軍事政権の関係者の首相就任を目論んでいるため、人気取りに精を出さねばならないことになっている。

#### 6.4 善人+君主制 vs. 民主主義

大衆迎合型と批判されるポピュリスト(タックシン派および政党政治家)、劇場型のポピュリスト(「善人」、両者の衝突には君主制が絡んでいる。選挙民主主義によって、権威や権力を脅かされるものの1つは、政治への関与を続ける君主制である。9世王は正法王と讃えられ、道徳の権化と見なされていた。タックシン政権打倒に邁進した「民主主義のための国民連合」(黄シャツ、PAD)は、反政府デモ集会への参加者に、徳性に満ちあふれた国王への敬愛と不道徳な民選政治家への嫌悪を表明するために黄色いシャツを着用するように促し、「我々」と「奴ら」を峻別しようとした。応じない人々に、無知蒙昧な衆愚、反王制論者、タックシンの奴隷といった不寛容な罵声を浴びせた。

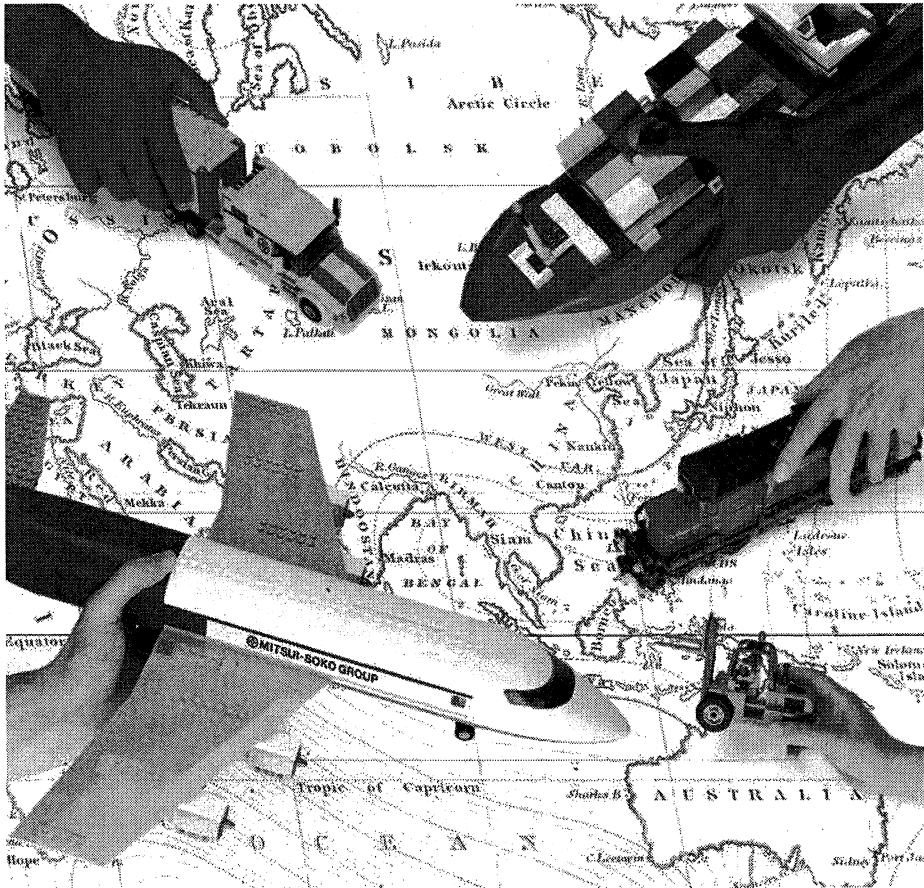
善人にとっては、完全無欠な道徳的存在である国王(9世王)が善の頂点に君臨する。彼らは国王を絶対的な高みに祭り上げて、その高みからタックシン(ないしは政党政治家)の道徳不足を指弾する。君主への帰依と述べても過言ではないほどの敬愛が善人の証明である。君主の徳性が高いほど、善人は勢いを増す。

国王の徳性を際立たせるには、徳性の不足した敵が存在すると好都合である。それは国民主権という原理に基づいて台頭する政党政治家である。政治家の汚職を非難すれば、国王の徳性が際立つ。司法機関が容疑者や被告の身分に応じて判断を変更するため、つまり法の前の平等が不足しているため、特定の政治家の汚職を厳しく処断することは難しくない。君主は自らに一定程度の徳性が備わっていれば、政党政治家に日常的な国政運営を委ね、汚職批判などの粗探しによって君主自身を光らせることが

<sup>32</sup> “Nayok yan long phunthi tang cangwat mai chai kanmuang rap luan thalaeng phonngankalahom”, *Thai Rat*, Aug 29, 2017 (<https://www.thairath.co.th/content/1053945>).



可能である。しかし、仮に政党政治家の民主的正当性を帳消しにできる徳性を備えていなければ、政党政治家に活躍の場を与えないという選択をせざるを得ない。政治家の失敗を待つのではなく、そもそも代議制民主主義を封印してしまうのである。プラユット政権が官民協力政策や 2017 年憲法などを用いて達成しようとしているのはそうした封印ではないかと思われる。



## 物流から価値を。

モノを動かす。心で動かす。

 **MITSUI-SOKO GROUP**

物流から価値を。三井倉庫グループのビジョンであるこの言葉にはさまざまな意味が込められています。経済合理性があること、素早い対応ができること、正確であること、そしていまでもなく安全であること…。物流に求められる「価値」はますます多様化しています。三井倉庫グループは、グローバルな視点で日々新たな挑戦を続け、物流から価値を生み出してまいります。